

# 事業概要説明シート

事務事業番号 10602450045

事務事業名	職員採用任免事務		類似事業グループ	25.内部管理事務(課運営事務除く)
事業期間	～	担当部署	総務部 人材育成室 人事課	
総合計画体系	(施策目標) 行政経営の効率化を推進する			
公約	行政改革実施プラン	質疑意見等	(市議会)	(監査委員)

根拠法令	地方公務員法等
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託又は指定管理(委託先又は指定管理者: ) <input type="checkbox"/> その他( )
目的(何のために)	行政ニーズの多様化や技術の高度化に対応するため、優秀な人材を確保するとともに、庁内活性化の推進及び簡素で効果的、効率的な執行体制の確立を図るため、適材適所の配置等を行うことを目的とする。
対象(誰・何を対象に)	市職員
事業内容	①平成25年度採用者数 153人、②平成25年度退職者数 117人 ③平成25年度異動者数 487人、④平成25年度臨時職員発令件数 584件 ⑤平成25年度特別職非常勤職員発令件数 1,046件  幅広い人材確保のため、選考方法を一部見直し、新たに適性検査を導入した。また、受験者数の確保のため、採用セミナーを実施するとともに、各大学での就職説明会へ参加した。
目的が同種の事業(国・府・市・民間)	なし
事業の必要性	行政ニーズの多様化や技術の高度化に対応するため、優秀な人材を確保するとともに、庁内活性化の推進及び簡素で効果的、効率的な執行体制の整備・強化を図るため、実施しなければならない事業である。

コスト	H24年度決算		H25年度決算		H26年度当初予算	
	従事職員数	概算人件費	従事職員数	概算人件費	従事職員数	概算人件費
正職員	3.1人	24,800千円	3.1人	24,509千円	2.6人	20,639千円
再任用職員	人	0千円	人	0千円	人	0千円
非常勤職員等	人	千円	人	千円	人	千円
人件費計(A)		24,800千円		24,509千円		20,639千円
直接経費(B)		277千円		944千円		1,875千円
総事業費(A+B)		25,077千円		25,453千円		22,514千円

財源内訳	H24年度決算		H25年度決算		H26年度当初予算	
		千円		千円		千円
国庫支出金		千円		千円		千円
府支出金		千円		千円		千円
受益者負担(使用料等)		千円		千円		千円
その他		千円		千円		千円
一般財源		25,077千円		25,453千円		22,514千円

平成25年度事業費の主な内訳(人件費除く)	内 容	金 額
	適性検査委託料	674千円
	筆耕翻訳料	206千円

# 事業概要説明シート

事務事業番号 10602450045

事務事業名	職員採用任免事務	類似事業グループ	25.内部管理事務(課運営事務除く)
事業開始年度	～	担当部署	総務部 人材育成室 人事課

	活動指標もしくは成果指標	単位	H24年度	H25年度	H26年度(見込み)
活動実績	① 発令件数(採用者、退職者、異動者、臨時職員、非常勤職員に対する発令)	件	2,885	2,387	2,387
	② 採用セミナー参加者数	人	200	199	200
	③ 職員採用試験受験者数	人	793	1,014	1,014
単位当たりコスト (総事業費/活動指標)	① 事業費 / 発令件数	円	8,692	10,663	11,095
	②				
	③				
目標とする成果 (費用対効果含む)	職員数の適正化を図りつつ優秀な人材を継続的に確保していくとともに、より効果的、効率的なバランスの取れた執行体制の整備・強化と庁内の活性化を図る。				
成果目標達成状況	幅広い人材確保のため選考方法を一部見直し、新たに適性検査の導入を行い、また、採用セミナーでPRを行った事などにより、前年度の職員採用試験における受験者数を大幅に上回ることができ、より豊富な人材の中から職員を採用することができた。			目標達成度	概ね目標どおり
比較参考値 (他自治体とのコスト比較、サービス水準比較)					
事業のPR	職員採用について、広報ひらかた及び枚方市ホームページなどを通じて市民に周知を行ったほか、特に応募者数の少ない技術系職種等の応募拡大につなげるため、大学等が実施する就職説明会へ参加し、本市の魅力や公務員のやりがいなどをPRした。また、市役所業務に関心のある学生を対象に、インターンシップの受け入れ等を行うとともに、採用試験前には採用セミナーを実施し、受験を検討している学生等を対象に本市で働く魅力等についてPRを行った。				
市民満足度					
特記事項					

一次点検における事業の今後の方向性及び具体的な今後の取り組み方策	改善	今後も引き続き、効果的・効率的な執行体制の確立を図るため、職員の適材適所の配置等を行うとともに、更なる優秀な人材を確保するため、現在、行っている各大学での就職説明会への参加拡大や、インターンシップ募集の新たな手法の模索、また、採用試験の見直しなど、職員募集に関する取組みを積極的に行い、職員採用試験における受験者数の拡大を図る。
一次評価結果	・一次点検内容について、特に異論なし。	
二次点検における事業の今後の方向性及び具体的な今後の取り組み方策		

# 事業概要説明シート

事務事業番号 10401260008

事務事業名	追悼式典業務		類似事業グループ	8.イベント関係
事業期間	～		担当部署	総務部総務管理課
総合計画体系	(施策目標) 国際化を推進し、平和な社会の実現に貢献する			
公約	行政改革実施プラン		質疑意見等	(市議会) (監査委員)

根拠法令	決裁
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託又は指定管理(委託先又は指定管理者: ) <input type="checkbox"/> その他( )
目的(何のために)	戦争で亡くなられた方々及び本市のために殉職された方々の霊を市民や遺族と共に敬うため。
対象(誰・何を対象に)	遺族会、一般市民および関係団体
事業内容	戦争で亡くなられた方々及び本市のために殉職された方々の霊を敬うため、追悼式という名称で式典を開催する業務である。平成25年度は平成25年10月10日に市民会館大ホールにて開催した。
目的が同種の事業(国・府・市・民間)	全国戦没者追悼式(国)
事業の必要性	先の大戦で亡くなられた御霊に対し、謹んで追悼の誠を捧げ、遺族の方々に哀悼の意を表するとともに、恒久平和を祈念することを目的としていることから、公の行政として実施する事業であると考える。

コ ス ト												
	H24年度決算				H25年度決算				H26年度当初予算			
	従事職員数		概算人件費		従事職員数		概算人件費		従事職員数		概算人件費	
正職員	1.3	人	10,000	千円	1.3	人	9,883	千円	1.3	人	9,923	千円
再任用職員	0.0	人	0	千円	0.0	人	0	千円	0.0	人	0	千円
非常勤職員等	0.0	人	0	千円	0.0	人	0	千円	0.0	人	0	千円
人件費計(A)			10,000	千円			9,883	千円			9,923	千円
直接経費(B)			837	千円			811	千円			942	千円
総事業費(A+B)			10,837	千円			10,694	千円			10,865	千円

財源内訳												
	H24年度決算				H25年度決算				H26年度当初予算			
国庫支出金				千円				千円				千円
府支出金				千円				千円				千円
受益者負担(使用料等)				千円				千円				千円
その他				千円				千円				千円
一般財源			10,837	千円			10,694	千円			10,865	千円

平成25年度事業費の主な内訳(人件費除く)	内 容		金 額
	市民会館舞台設置委託料		279 千円
司会派遣等報償金、式典用菊花一式等消耗品費			532 千円

# 事業概要説明シート

事務事業番号 10401260008

事務事業名	追悼式典業務	類似事業グループ	8.イベント関係
事業開始年度	～	担当部署	総務部総務管理課

	活動指標もしくは成果指標	単位	H24年度	H25年度	H26年度(見込み)
活動実績	① 追悼式参列者数	人	389	375	380
	② 直接経費/参列者数	円	2,151	2,162	2,479
	③				
単位当たりコスト (総事業費/活動指標)	① 総事業費÷追悼式参列者数	千円	28	29	29
	②				
	③				

目標とする成果 (費用対効果含む)	参列者数に対する直接経費の単位あたりコストを、前年度以下に抑えることを目標とする。 事業の性質上、採算性の確保は困難であるが、事業経費の削減に加え、一般市民、関係団体に参列の働きかけを行うほか、遺族会と連携し、招待者の出席率の増加を図る。				
----------------------	--	--	--	--	--

成果目標 達成状況	招待者の高齢化などにより参列者は減少しているものの、直接経費を抑えることで、ほぼ目標を達成している。	目標達成度	概ね目標どおり
--------------	--	-------	---------

比較参考値 (他自治体とのコスト比較、サービス水準比較)	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成23年度実施「戦没者追悼式典にかかる調査について(照会)」より(内容)・市名①参列者数②直接事業経費③1人当たりの直接経費 ※23年度数値</li> <li>高槻市①196人②約800千円③4100円・豊中市①148人②656千円③4400円・吹田市①329人②732千円③2200円・八尾市①97人②696千円③7100円・茨木市①174人②1054千円③6000円</li> <li>【枚方市①375人②811千円③2100円(平成25年度実績)】</li> </ul>				
---------------------------------	--	--	--	--	--

事業のPR	「広報ひらかた」、ホームページへの掲載、エフエムひらかたへの情報提供、市民会館の祭事案内をとおしてPRしている。				
-------	--	--	--	--	--

市民満足度	参列者の大半が遺族会の方であり、遺族会からは、追悼式の会場や規模等に関して現状での開催継続を望む意見も聞かれる。				
-------	--	--	--	--	--

特記事項	参列者の増加や事業費の削減のため、今年度より以下2点を行う。 ・「広報ひらかた」への掲載を9月号1回であったものを、開催月の10月にも掲載し、2回に増やす。 (参考) 平成24年度から献花台の設置場所の変更(バリアフリー化)や、献花方法等を見直し、開催時間を短縮した。				
------	---	--	--	--	--

一次点検における事業の今後の方向性及び具体的な今後の取り組み方策	現状のまま継続	引き続き「広報ひらかた」やホームページの掲載等を行い、参加者の増員などに努めていく。 また、今後も参列者数の推移を注視し、会場の選定や舞台装飾を見直すなど経費削減を目指す。
----------------------------------	---------	---

一次評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>参加者の現状を鑑み、効果的な事業内容を検討しては。</li> <li>当事業の内容の規模や手法の再検討が望まれるのではないかと。</li> </ul>	
--------	--	--

二次点検における事業の今後の方向性及び具体的な今後の取り組み方策		
----------------------------------	--	--